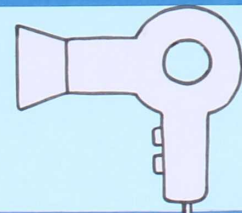
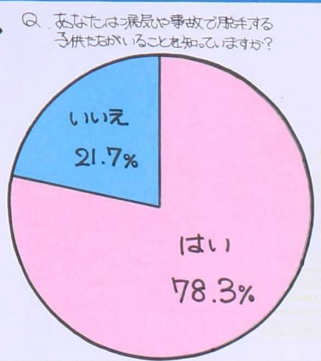


髪で笑顔に ヘアドネーション

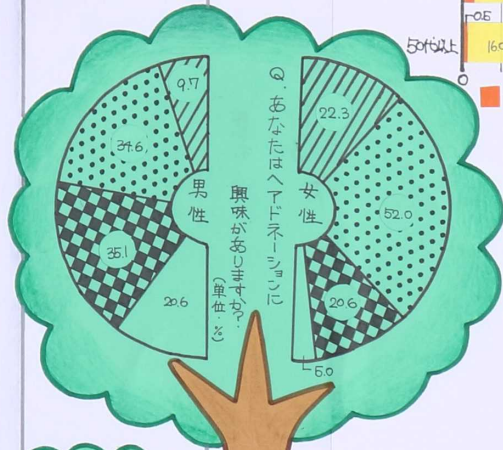
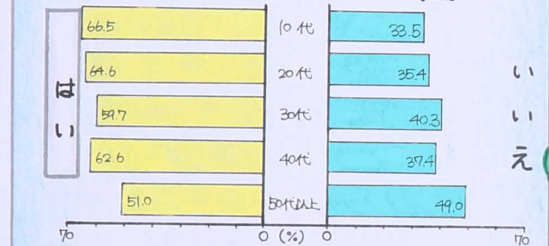
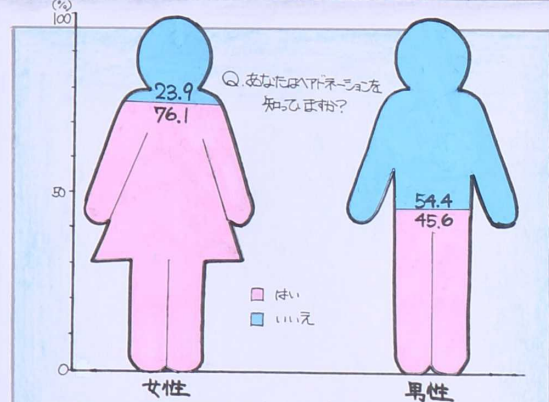


お母さんにすすめられてヘアドネーションをしました。長く伸びた髪を切ることで、人の役に立つことが知り、興味を持てたので調べてみました。



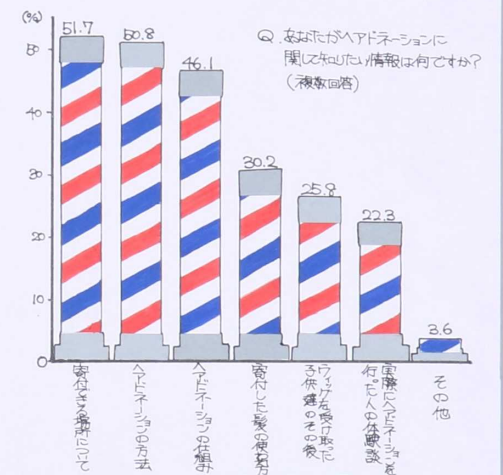
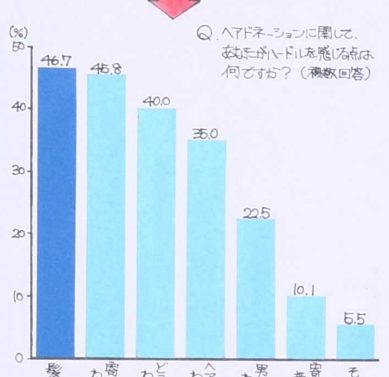
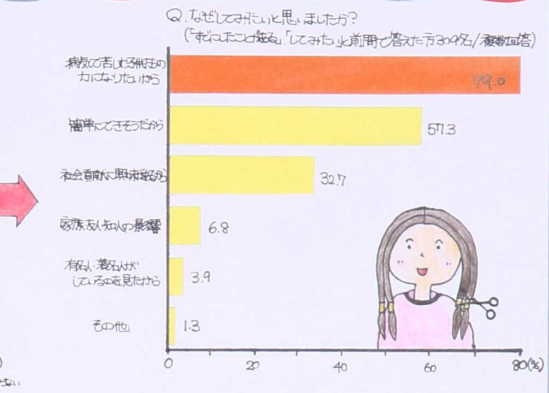
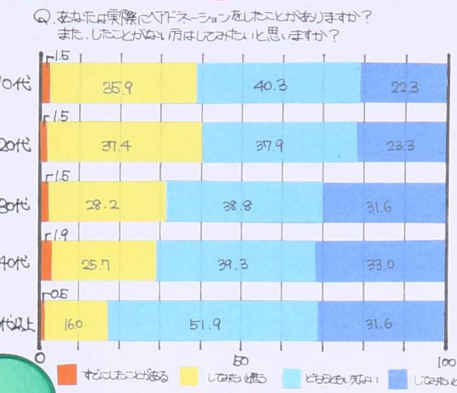
「ヘアドネーション」これは、寄付された髪の名で医療用ウィッグを作り、そのウィッグを病気や事故で髪を失った子供たちに無償提供する活動のことです。日本では、2009年にこの活動が始まりました。

ヘアドネーションをしたことがある割合は、全年代を通じて大きな差はない。しかし、してみたいと思う割合は10代、20代の若い世代が多い。



興味がある人は、髪を伸ばすのが大変だと悩んでいる。寄付するには30cm以上の長さが必要だからか?

女性にヘアドネーションを知っている人が多く、また、10代、20代は割合が他の年代に比べて高い。
10代、20代は、テレビや新聞、ネットのニュースを知る人の割合が他の年代に比べて高く、SNSを通じて知る割合が高い。



～私たちにできること～
髪を伸ばして寄付することで活動に貢献することができます。それ以外にも、髪を伸ばすのが大変だと思う人は、義金という方法でもこの活動に貢献することができます。
JHD&C ホームページ

資料：2019年7月24日～26日 3日間
株式会社 JHD&C
「ヘアドネーションに関する意識調査(10代～50代)」
全国の10～50代以上の男女10,000名(有効回答10,000名)

調べてみて、ヘアドネーションに興味を持てたことを知りました。ウィッグを待ち望んでいる子供たちが多く笑顔になってほしい。ぜひ、もう一度ヘアドネーションをしたいと思いました。